

令和7年度 高島市小学校教育研究会 視聴覚部会研究報告

(1) 郡市名 高島市

(2) 研究テーマ 「児童の主体的な学びにつながる視聴覚機器の活用」

(3) 研究組織 高島市小中学校教育研究会 視聴覚部会(小学校)

部会役職	所属	職名	氏名
部会長	高島小学校	教頭	城戸 久貴
副部会長	新旭南小学校	教諭	井上 颯
運営委員	今津北小学校	教諭	清田 将義
研究推進委員	高島小学校	教諭	濱口 未来
部員	マキノ西小学校	教諭	伊吹 航
	安曇小学校	教諭	関 胡桃
	本庄小学校	教諭	北川 真吾
	高島小学校	教諭	菅谷 将大
	高島小学校	教諭	桑原 三彩
	新旭南小学校	教諭	磯野 千紘
	新旭南小学校	教諭	後藤 凌
	新旭南小学校	教諭	上田 武史

(4) 年間研究(事業)報告

令和7年5月7日 研究組織の確認、テーマ、計画の検討及び決定

令和7年9月18日 高島市小学校教育研究会 視聴覚部会研修会

「教科書課題を活用したプログラミング指導方法や

授業・校務における効果的なAI活用について」

講師：滋賀県総合教育センター 関川 法之 指導主事

(5) 取り組み

5月7日に開催した第1回研究部会では、今年度の研究組織および年間計画の確認を行うとともに、研究テーマについて検討した。

9月18日には、第2回研究部会として「高島市小学校教育研究会 視聴覚部会研

修会」を開催した。滋賀県総合教育センターより関川指導主事をお招きし、「教科書課題を活用したプログラミング指導方法や授業・校務における効果的な AI 活用について」を演題に、実践事例を交えた講演および演習を行っていただいた。



はじめに、プログラミングアプリ「Viscuit」や「Google ロゴでプログラミング」について紹介していただき、実際にアプリを操作しながらプログラムを作成した。参加者が作成したプログラムは多種多様であり、児童一人ひとりの発想やアイデアを自由に表現できるプログラミングツールであることを実感した。また、理科や算数といった教科学習にとどまらず、さまざまな場面で活用できる点から、今後も積極的に授業へ取り入れていきたいと感じた。

次に、校務や授業に活用できる生成 AI について、Microsoft の AI アシスタントツール「Copilot」を用いて説明していただいた。生成 AI については文部科学省からガイドラインも示されており、教員がその特性や活用方法を正しく理解した上で、指導に生かしていくことが求められている。実際に操作を体験しながら、具体的な活用方法について学んだ。

校務面では、文章の校正や言語化、要約、アンケート作成などに活用できること、授業面では導入場面のアイデア提示や小テスト、ルーブリックの作成などに有効であることが紹介された。生成 AI は多様な活用可能性をもつとともに、今後も進化し続けるツールである。今後も研修等を通して学びを深め、積極的かつ適切に活用していきたい。

(6) 成果と課題

研修会では、実際にタブレット端末を操作しながら複数のアプリを演習することで、授業や校務のどのような場面で活用できるのかを具体的にイメージすることができ、大変学びの多い研修となった。

特に生成 AI については、これまで校務や授業で活用した経験のない教員が多かったが、実際に操作・体験することで、その利便性や手軽さを実感し、具体的な活用方法をイメージすることができた。

今後は、視聴覚部会で得た学びを部員だけにとどめるのではなく、いかに各校の教員へ広げていくかが課題である。多くの教員が ICT 機器を効果的に活用し、子どもたちの学びをより広げ、深めていけるよう、視聴覚部員が中心となって研修会の開催や実践報告を行ってきたい。

